

【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

【一般部門】

株式会社伊豆バス

『深深ジオ秘水わさびツアー 秘境のわさび田と駿河湾の風に吹かれて過ごす美味しくて心休まる時間の旅』

(観光地域：静岡県 賀茂郡西伊豆町)

【日程】	日帰り		
【実施時期】	通年		
【催行人員】	9名 (最少催行人員：5名)	【お勧めする旅行者層】	雑誌やインターネットでよく見る観光スポットではなく、「行かなければわからない」「ここでしか体験できない」コアなスポットを探している旅行者。西伊豆に一度訪れたことがあり、リピーターになりえる旅行者。食ツウな都会からの旅行者。
【旅行代金】	20,000円 (大人1名)	【内訳】 旅行代金に含まれるもの) わさび体験料 (現地案内人付)、お土産用わさび (量は生産状況により変化)、貸切タクシー代、遊漁船乗船料 (船長のガイド付き)、昼食、移動中の車内ガイド (ビデオ付き)	
【企画趣旨 (伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>地層などの研究の結果、伊豆半島の歴史は約2000万年前の姿まで明らかになっている。約2000万年前、巨大な「太平洋プレート」が、伊豆半島が乗っている「フィリピン海プレート」の下にも沈み込んでおり、将来伊豆半島になる大地の源「マグマ」を供給していた。一方、フィリピン海プレートは、本州直下の「ユーラシアプレート」の下に沈み込み、フィリピン海プレートの上にできた海底火山や火山島はプレートとともに北に移動。その結果、約100万年前に本州に衝突し、陸地同士が海を埋め、約60万年前に現在のような半島の形になっている。そして、各所で噴火が発生し、天城山や達磨山といった現在の伊豆半島の骨格となる大型火山が誕生。このことから、伊豆半島の豊かな自然は地形変動の歴史、つまり「地球の恵み」によってもたらされていると言っても過言ではない。</p> <p>西伊豆町を舞台として、伊豆半島でしかできない「ジオ (地球) の恵みを実感できる」ツアーを実施。ただ観光スポットを眺望するだけではなく、地球の成り立ちを感じられる、心の琴線に触れられるような極上の体験を提供します。</p> <p>本ツアーの見どころは大きく2つ。1つは、限られた車両でしか移動できない秘境と感じられる宇久須の山奥でわさび栽培をする藤井夫妻の案内のもとに行う、藤井わさび園でのわさび収穫体験およびわさび園ガイド。水温を年中12~13℃に保つ (上昇すると軟腐病発生の恐れ、低下すると生育停止の恐れがある)、年間を通じて安定した水量に保つなど、わさびの生育条件は非常に厳しい。そんな中、西伊豆がわさびの一大産地となっているのは、ジオの恵みに他ならない。天城山からの湧水を活用することによって、水温、水量ともに一定に保った状態で栽培することが可能だ。生育に最適な環境で育てられたわさびを収穫するとともに、「水によって生かされる自分自身」を感覚的に理解できることだろう。わさび田の石垣は、わさび愛にあふれる藤井夫妻が、手作業で石垣を組み、有機栽培 無農薬にて出来た土壌で、わさびの緑に 蝶が飛びかう そして秋には 紅葉とわさびのここでしか見ることのできない恵みの景色を堪能できる。</p> <p>そしてもう1つは、海が舞台。田子港から出発し、40分間の田子湾ジオクルージングツアーを実施する。視界を遮るものがない「海」を船でクルージングし、「風」を感じるひとは至高の一言だ。海を透き通るような色に保っているのは、やはり自然の力。「サンゴ礁が生息し続けている海は透き通っている」とされており、田子湾の海もサンゴ礁によって守られている。また、天気良ければ、クルージング中に富士山が一望できる。360度「海」に囲まれた中での40分間で、「自然に生かされた自分」を実感できる。奇岩のメガネツョが皆さまをお待ちしている。</p> <p>本ツアーは、黄金崎から始まり、わさび園や田子湾を巡り、そして新鮮な刺身を収穫したわさびとともに食するという、「ジオの成り立ちと、ジオに生かされた生命」を一連で体感できる内容となっている。全行程にガイドがつくことで、体験だけでなく知識も吸収することができ、「自らの変化のきっかけ」となりえるようなツアーを提供する。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
タクシー運行による安全運行の確保、地域救急病院との連携による事故等、天災時における避難訓練を定期的に訓練されているスタッフ (運転士等) の配置、AED 車積載 水難事故等におけるダイバーとの連絡網を構築、配慮している。		全ての工程で地元出身者のスタッフを配置。その中には、旅程管理/ジオ検定の資格を有するスタッフや、ダイバーでありながら調理師免許を取得し、海を知り尽くしたダイビングショップを運営する遊漁船船長の対応にて、地域を愛し、知り尽くし、全国のお客様との対応経験のある人員が対応します。タクシーの運行については、観光タクシー配属の運転手を乗務させ、ツアーでは回り切れない西伊豆の魅力の案内に務めます。	
【企画協力 (後援) 機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力 (後援) 機関・団体名等】	【主な役割】
①(株)伊豆バス タクシー	交通 (タクシー)	④潜水屋 じんべい	遊漁船 船上ガイド
②藤井わさび園	体験 ガイド	⑤海猫	食事 (昼食)
③伊豆半島ジオガイド協会	現地ガイド (VTR)	⑥健育会 西伊豆病院	事故対応 緊急時搬送

【催行実績】	無 10月24日より販売開始 毎水曜日 と 土曜日 11月22・23・12月12日最終日
--------	--

【 行 程 表 】

1日目	08:30 集合・08:45 発 黄金崎公園休憩施設「こがねすと」===宇久須地区 藤井わさび園にてわさび収穫体験およびガイド：120分===田子湾絶景ジオクルージングツアー：40分===海猫（天気が良ければ乗船場）にて昼食（当日仕入れた刺身を、自身で収穫したわさびとあわせて）：40分→→→西伊豆はんばた市場にて地元産お土産の買い物タイム：40分→→→15:00 各御宿またはこがねすと（解散） ※===はバス移動を、→→→はタクシー移動を表す
-----	--

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など）】

【ジオの恵みが感じられる黄金崎】	【藤井わさび園の風景】	【紅葉の時期の藤井わさび園】
		
<p>約 2000 万年もの月日を経て形成されている伊豆半島と、その歴史によってもたらされる自然。本ツアーは、山と海が一度に堪能できる黄金崎から始まる。この自然がどのようにしてもたらされたのか、人々にどんな恵みをもたらしているのか、ツアーガイドの説明も含めて知る機会となるだろう。</p>	<p>西伊豆町宇久須地区に構える、藤井夫妻の藤井わさび園。15,000 本のわさびを、たった 2 人で守り抜いている。わさび園の上部から天城山の湧水が流れており、落葉によって水流が偏ってしまう恐れがあるため、藤井夫妻によって毎日点検がおこなわれており、そのおかげで私たちは一年中おいしいわさびを食べることができている。</p>	<p>本ツアーを実施するのは、10月～12月初旬という、秋から冬のシーズン。わさび園の近くで紅葉が見られるのは全国的にも珍しく、藤井わさび園ならではの風景だ。紅葉のシーズンに開催する本ツアーで、ここで見られない景色を楽しんでいただきたい。</p>
【生育されているわさび】	【田子湾ジオクルージングツアー】	【田子湾から眺望できる富士山】
		
<p>藤井わさび園では、わさびの生育環境に非常にこだわっている。一定の水温・水量で供給される天城山の湧水を最大限生かすため、毎日の落葉の除去、砂利の勾配の調整をおこなうなど、わさびへの「愛」を感じることができる。わさびは 12 月が旬であるため。秋～冬にぴったりのツアーとなっている。</p>	<p>ジオ（地球）の雄大さを肌で感じられる田子湾ジオクルージングツアー。360度「海」の中で感じる「風」は至高の一言だ。また、地形変動によって偶然生まれたユニークな地形や、泳いでいる魚が肉眼で見えるほどの透き通った水など、目の前の自然やジオの成り立ちに想いを馳せるひと時を過ごすことができる。</p>	<p>田子湾ジオクルージングツアーの途中で、晴れた日には富士山が眺望できる。麓で見るとはあっても、遠く離れた海から富士山を見る経験は滅多にないはずだ。富士山および伊豆の自然の雄大さにただ見とれるのも、本ツアーの楽しみ方の一つである。カメラ好き、自然好きの旅行者にはたまらない 40 分間になるだろう。</p>